

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第1回星が丘公民館改修検討委員会	
事務局 (担当課)	生涯学習部 星が丘公民館 電話042-755-0600(直通)	
開催日時	令和2年7月3日(金) 19時～20時30分	
開催場所	星が丘公民館 1階 大会議室	
出席者	委員	17人
	事務局	2人(館長代理、公民館職員1人)
	その他	市職員7人(生涯学習課5人、公共建築課2人)
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 自己紹介 3 委員長・副委員長の選出 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 星が丘公民館長寿命化改修工事に向けた取り組みについて (2) 今後の検討スケジュール案について (3) 改修検討委員会の規約案について (4) その他 5 次回開催日について 6 閉会 	

検 討 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会あいさつ

後藤陽子館長から、「当初3月15日開催予定だったが新型コロナウイルスの影響で延期となった」旨、「本日からの検討により、改修後には、当館振興計画の目標である『地域みんなのいこいの場・仲間づくりの場に』を実現できるようご協力をいただきたい旨のあいさつがあった。

2 自己紹介

委員、市職員、事務局職員が自己紹介を行った。

3 委員長・副委員長の選出

竹田幹夫委員長、坂本洋三副委員長が選出された。

4 議題

(1) 星が丘公民館長寿命化改修工事に向けた取り組みについて

生涯学習課職員から、資料1、資料3に沿って説明を行った後、質疑を行った。

○公民館の耐久年限はどう考えているのか。あと40年、計80年と言うが、そんなにもつのか。

●数年後に長寿命化改修工事を行い、その20年後(60年目)には中規模改修工事を計画的に行って、80年使用する、という計画である。現在の柱や壁の不具合というのは基礎調査で調査し、もし、補強等が必要であれば、改修工事の時に対応していくものと想定している。

○市の財政状況や高齢化の説明が多くあったが、これから40年間、公民館をどうしていくのか、どうしていきたいと市は考えているのか。

●星が丘公民館の皆さんで考えた星が丘公民館振興計画のスローガンである「地域みんなのいこいの場・仲間づくりの場」という考え方は、市としても同じであると考えている。

○今回、建設から40年目ということで改修を行うが、資料にある次の節目の20年後には、こどもセンターとの合築なども検討する必要があるのか。

●基本的には施設を40年使っていくこととなると思うが、今後の小学校の児童数の推移や、小学校、こどもセンターの施設の劣化状況によっては、それに合わせた検討を行うことも想定される。

(2) 今後の検討スケジュール案について

生涯学習課職員から、資料2に沿って説明を行った後、質疑を行った。

○検討した案が実現可能かを基礎調査において判断するとのことだが、例えば、「この壁は抜けないか」等は、検討する前の時点でわからないのか。それを踏まえた検討のほうが効率的だと思うが。

●まずは、現状や課題を認識していただき、その上で、諸室の機能の見直しや効果的な配置を考えていただきたい。課題の解決策を検討する段階では、公共建築課も加わるので、あまりにもできない案などは、その場で「できない」と伝えても

らう。公共建築課としても判断が難しいような要望が出た場合は、基礎調査で最終確認をすることになるが、それは検討の段階でもお伝えし、実現できなかった場合のセカンドベストの案についても、平行して検討していただきたい。

(3) 改修検討委員会の規約案について

館長代理から、規約案について説明を行った後、質疑を行った。

- 規約案で、委員の任期を「工事終了まで」としているが漠然としている。当初の想定通り2年にして、2年ごとに延長したらどうか。
 - 公募委員を2年で再募集してメンバーが入れ替わるのは好ましくない。
 - 検討委員会に関わった者として、工事が終わるまでは説明責任があると考えている。全員の任期を改修工事の終了予定時期と重なる4年間とさせてもらい、ただし途中から出席できない人がいることはやむを得ない、ということでどうか。
- ⇒ 一同異論なし。任期は「2024年（令和6年）3月31日まで」とした。

(4) その他

改修検討について、各委員が自由に意見を述べ、質疑を行った。

- 例えば、改修による部屋の配置替えによって、コミュニティ室を1階から2階に移すという案が出た場合、なにか問題は生じないか。コミュニティ室が作られた経緯を調べていただき、それを踏まえた上で検討を進めたい。
- 利用者協議会代表の立場としては、利用者アンケートを実施するなどして、利用者の声を聴く機会を設けたいと考える。
- そのアンケートで集まった意見は地域に公表するのか。
- そういったことも含め、アンケートの手法や取扱いについて、検討委員会の中で決めていっていただきたい。
- 施設が改修され、新しくなることで使用料が高くなるということはないか。
- 使用料については、新しいから高い、古いから安いという考え方ではなく、その部屋の面積によって決まるものである。
- 他の改修等を実施した公民館の視察については、市内の公民館だけの視察を行うのではなく、発送の転換で、市外の公民館でも良いところは見に行くべきだと考える。
- 過去の改修で増築した小山公民館や清新公民館などは、そもそも当館と条件が違うから参考にならないのではないか。
- 改修の理念が違う公民館であっても、参考になる部分は必ずあるので、今後、どういったところを見た方がいいということも含めて調整していただきたい。
- 増築がある、ないは別として、最近改修された公民館は、今風の形になっており、一般の方が想像するより、様々な工夫がなされている。私自身、他館に行くことがよくあり、実際に見てみれば、参考になるところは多くあるため、小山公民館や清新公民館の視察はぜひ実施すべきだと考える。
- 大会議室は使用料が高いという声を聞くので、大会議室を分割して使えるようにして、安く使えるのならありがたい。

- 和室は使いづらいため、クッション材の床の部屋にしたほうが使い勝手がいいのではないか。保育室の床材についても、絨毯ではなく、同じような素材がいい。
- 法的に公民館に図書室は置かれないのか。
- 法的には置かなければならないものではないが、平成30年度の実績で見ると、星が丘公民館の貸室の利用者数が約4万4千人に対して、図書の貸出し者数は約9千人であり、多くの方に利用されていることがわかる。また、市内には図書館が3館しかないの、身近で気軽に利用できる場所として公民館図書室が果たしている役割は大きいと考えている。公民館事業の柱の一つとして、図書室を有効活用していただけるよう検討していただきたい。
- 図書室は必要だと思う。
- 現在2階にある図書室を1階におろして、保育室と隣接する形になると、読み聞かせなどができて、なお良い。現在、保育室は一部の人しか利用できないので、そういったいろいろな使い方ができると良いと思う。
- 「事務室を広く」という案が例として出されたが、現状の広さで十分ではないか。物が多いから狭いのであって、物を片付けてスペースを確保すればいいのではないか。
- 昨年度、市の経営監理課が主催した、「みんなで考えよう、公共施設の在り方ワークショップ」に参加したところ、「公共施設は入りにくい」、「入ってもどう使っているかわからない」という意見が多く聞かれた。あそこに行けばお話ができる、お茶が飲めるといようなオープンスペースがあれば、公民館に用事がない人でも入りやすくなるし、幅広い年齢層の人たちが来館するきっかけにもなると思う。
- 星が丘公民館振興計画の目標から考えても、そういった交流スペースは必要である。
- 昨年度の台風など、風水害などが増えている。例えば、現小会議室を土足ではなく、靴を脱いで使用する多目的室にして、避難者がくつろげる部屋としての機能があるといい。
- テレビのリフォームの番組のように様々な工夫がこらされた素敵な改修を期待する。
- 使い勝手のいい、多くの物品を収められる収納を考えていきたい。
- 公民館は利用者が固定している。利用者の延べ人数ではなく、実際に利用している人が何人いるのか、ということ調べたほうが良いのではないか。
- 利用者が固定化しているという実態は確かにある。だからこそ、利用者の裾野を広げるため、おしゃべりのできるサロンを設ける、などの工夫をして、今まで公民館に来たことがない方が来たくくなるような公民館をつくりたいと思う。

5 次回開催日について

令和2年8月4日（火）午後7時からの開催となった。

6 閉会

以 上